

令和 6 年度 がん対策に関する主な事業について

1 がん対策総合推進事業

(1) がん克服総合推進事業

R 5 予算 → 25,204千円

R 6 予算 → 26,013千円

がん予防の推進やがん医療の均てん化とがんの早期発見・早期治療の促進を図ることによって、がん死亡の減少を目指す。

(事業内容)

ア がん対策の総合的推進

R 5 予算 → 273千円

R 6 予算 → 299千円

本県のがんの総合的な対策やがん対策推進計画の進捗管理等について、専門家・有識者等からなる協議会で協議し、方策を検討する。

・がん対策推進協議会等の開催

イ がん予防の普及啓発

R 5 予算 → 500千円

R 6 予算 → 500千円

がんの予防やがん検診の重要性の周知を図るため、各種媒体を通じて啓発する。

- ・ラジオCM、テレビCM、Web広告による啓発
- ・マスメディアによる告知
- ・県庁18階に啓発用パネルを展示

ウ がんの早期発見・早期治療体制の充実

R 5 予算 → 1,895千円

R 6 予算 → 1,895千円

がん検診の均てん化・精度管理の充実

ア がん検診均てん化研修会

がん検診に従事する医師、放射線技師等を対象とする研修会を実施する。

イ がん検診追跡結果等評価事業

市町村のがん検診や精度管理調査の結果から、検診の精度や方法等を各部会で評価する。

エ がん治療・検診の情報基盤整備

R 5 予算 → 6,761千円

R 6 予算 → 7,321千円

ア がん登録情報活用促進事業

医療機関から届出のあったがん登録情報の集計、分析を行い報告書を作成し、関係機関へ配布及び県ホームページへ掲載する。

イ がん登録評価事業

がん登録から得たデータを基に、県内・地域のがんの実態を把握・分析することで、県の実情に即した対策を推進する。

① 全国がん登録における事務の委託

（公財）県民総合保健センターへ委託し、医療機関から送付された全国がん登録届出票のシステムへの登録及び照合を行う。

② がん登録評価部会の開催

オ がん患者相談支援体制の整備

R 5 予算 → 1,021千円

R 6 予算 → 1,021千円

がん患者の多くが、がん診療や療養への不安を抱えていることから、専門家による講話や患者同士の交流により、不安を軽減し、がん患者やその家族が安心して生活できるよう、相談支援及び情報提供を行う。

- ・がん患者、家族を対象とした講演会及び相談会の開催
- ・がん患者ピア・サポーターの養成

カ 女性特有の疾患普及啓発

R 5 予算 → 1,258千円

R 6 予算 → 1,258千円

女性特有のがんについては、20歳代・30歳代から罹患が増える傾向にあり、他のがんと異なる特性を持つことから、若年者層に向けて検診による早期発見・早期治療の必要性、正しい知識の普及啓発を行う。

- ・ピンクリボン月間や二十歳のつどい等において、関連した資材等を配布

キ 罹患率高位がん対策

R 5 予算 → 389千円

R 6 予算 → 390千円

県民に対する講演会の開催により、肺がん等に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、がん予防や早期発見に対する意識の向上、がん検診の受診率向上を図る。

- ・鹿児島県民のための大腸がん・肺がん予防講座の実施

（オンライン参加：121名、オンデマンド視聴回数：217回）

ク がん患者アピアランスケア支援事業

R 5 予算 → 4,655千円

R 6 予算 → 4,756千円（一部新規）

がん患者が、手術、放射線療法又は化学療法に伴う脱毛や乳房切除による精神的負担を軽減するために使用する医療用ウィッグや乳房（胸部）補整具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の経済的負担を軽減し、治療と就労等の両立を支援する。

- ・実施市町村数：ウィッグ購入費助成：41市町村

乳房（胸部）補整具購入費助成：28市町

- ・助成実績：337人

（R 6. 10時点）

ケ がん理解促進事業

R 5 予算 → 5,654千円

R 6 予算 → 8,573千円

がんに関する正しい理解の促進とがん検診受診率の向上を図るため、本県独自の「がん」に関連する普及啓発資料を作成し、小中学校、高等学校等におけるがん教育の副教材及び中高年層への普及啓発資料として活用する。

また、外部講師の派遣や人材育成を業務委託し、学校や企業、市町村へ外部講師を派遣することで、更なるがんに対する正しい理解の促進を図る。

- ・がん教育冊子の作成・配布

県内全ての児童生徒へ配布（作成部数：212,400部）

- ・外部講師の派遣

学校：188校、事業所等：11カ所

（２）がん医療提供体制緊急整備事業

R 5 予算 → 47,146千円

R 6 予算 → 48,000千円

地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高いがん医療の提供体制の確立のため、国が指定した地域がん診療連携拠点病院等が担う機能のうち、診療報酬でまかなえない、相談支援センターの運営や医療従事者に対する研修会の開催等に要する経費の補助を行う。

（整備箇所 7 箇所）

	医療機関名	補助限度額
地域がん診療連携拠点病院	済生会川内病院（川薩保健医療圏）	8,000千円
	鹿児島市立病院（鹿児島保健医療圏）	8,000千円
	昭和会いまきいれ総合病院（鹿児島保健医療圏）	8,000千円
特定領域がん診療連携拠点病院	博愛会相良病院（乳がん）	6,000千円
地域がん診療病院	出水郡医師会広域医療センター（出水保健医療圏）	6,000千円
	霧島市立医師会医療センター（曾於保健医療圏）	6,000千円
	義順顕彰会種子島医療センター（熊毛保健医療圏）	6,000千円

（３）若年末期がん患者に対する療養支援事業

R 5 予算 → 600千円

R 6 予算 → 574千円

若年者の末期がん患者及び家族の身体的、経済的な負担の軽減を図るため、安心して在宅療養ができるよう支援する。

- ・R 5 助成実績

実施市町村：38市町村

利用者数：6人（5市町）

実績額：312千円

2 若年がん患者等支援事業

R 5 予算 → 5,573千円

R 6 予算 → 5,528千円

若年がん患者等の多様なニーズに応じた支援を行い、患者のＱＯＬの向上を図る。

(事業内容)

ア 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

R 5 予算 → 4,619千円

R 6 予算 → 4,612千円

小児・AYA世代のがん患者等が将来子どもを出産することができる可能性を温存するための妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成し、その経済的負担の軽減を図る。

・ R 5 助成実績

助成件数：18件

実績額：3,139千円

イ 造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業

R 5 予算 → 954千円

R 6 予算 → 916千円

造血細胞移植を受けた20歳未満の者へワクチン再接種費用を助成する市町村へワクチン再接種費用を助成する市町村に対し、経費の一部を助成する。

・ R 5 助成実績

実施市町村：34市町村（R 6. 4 現在 36市町村）

利用者数：12人（6市町）

実績額：318千円

3 粒子線がん治療費利子補給事業

R 5 予算 → 518千円

R 6 予算 → 344千円

陽子線がん治療研究施設で治療を受けるために金融機関等から治療費を借り受けた患者等の借入れの利子分を助成する。